

総合的な取組

JAによる地域のくらしを守る取組

～ 移動購買車、店舗の維持、宅配事業～

1 概要

全国農業協同組合連合会は、平成23年度より「新たなJA生活実践運動」の取組を開始。農業地域における人口減少や高齢化の進展を背景として、組合員の生活実態やニーズをアンケート等により把握した上で、それぞれの地域の課題に応じた地域のくらし支援について、JAと協議しながら取り組んでいる。移動購買車、既存店舗、宅配等の様々なツールを活用し、組合員・地域住民とJAとの双方向コミュニケーションを図ることで、安心して快適に生活できる地域づくりを目指している。

2 取組内容

1. 移動購買車

「近くに店舗がない」という地域では、JAが出向く取組として、「商品を届ける」移動購買車を展開している。全農がすすめる「新たなJA生活実践運動」の取組の中では、現在、みなみ信州（長野県）、びほく（岡山県）、えひめ南（愛媛県）のJAで、計5台運行している（その他JAでの独自取組も多数あり）。

組合員または日常の買い物が困難な地域住民の方に対して、週1回の巡回を基本としており、地域のAコープ・購買店舗、農産物直売所をベースとしている。



2. 店舗の維持

JA店舗には、Aコープ、購買店舗、農産物直売所などがある。Aコープ店舗の多くは会社化し運営しているが、小型店舗を中心にJA運営の店舗が存置している。これらの店舗は地域の「ライフライン店舗」として機能しているケースが多く、地域住民からも存続を期待されている。個別店舗ごとに立地・規模・利用者ニーズ・物流等の差異があり、店舗類型的に提携企業を選定し店舗存続のための対応を提案している。



ヤマザキYショップとの取組

- ・概ね40坪以下で小商圈のJA購買店舗を対象
- ・小規模運営が可能であり、品揃え、配送網も充実

ファミリーマートとの取組

- ・概ね40～100坪のJA購買店舗・Aコープを対象
- ・売場面積が80坪以上は、Aコープとの一体型店舗へ転換

全日食との取組

- ・概ね70～150坪のAコープ店舗を対象
- ・生鮮品を含め、フルライン対応及びローコスト運営が可能



3. JAくらしの宅配便

JAでは、女性部のチラシ回覧による協同活動を主体とした生活用品の共同購入事業に取り組んできたが、商品の満足度や必要性も高い反面、物流・品揃えの向上といった組合員からの要望や高齢化社会への対応等を目的として、「JAくらしの宅配便」を開発。安全・安心にこだわるエコープマーク品・全農ブランド商品を中心とした食料品、日用品、化粧品を、自宅や指定場所に届けている。

JAくらしの宅配便

毎日をもっと便利に、より快適にする
JAの宅配サービス。



3 新たな取組

【タブレット端末の利用による買い物弱者対策】

JAおちいまばり(愛媛県)では、タブレット端末で専用アプリを開発。JA直売所である「さいさいきて屋」の商品を買い物注文できるシステムを構築し、農産物の集荷便等を活用して配送。島嶼部や陸地部中山間地域の買い物に不便な方を対象として展開している。

また、子供や兄弟・友人へのメールの受発信を簡単に操作できる機能や高齢者の安否確認の仕組みを付加し、組合員に買い物の利便性とコミュニケーション・高齢者支援ツールとして活用を図っている。



【問い合わせ先】 全国農業協同組合連合会 生活関連事業部 生活リテール部
電話：03 - 6271 - 8357